

第61回技能五輪全国大会

～「造園職種」で初入賞・銅賞～

令和5年11月17日（金）から21日（火）に、愛知県で、国内の青年技能者が技能レベルを競い合う「第61回技能五輪全国大会」が開催されました。

「造園職種」では、これまで千葉県勢の入賞はありませんでしたが、今大会で初めて、千葉県立我孫子高等技術専門校造園科の生徒の吉野 真輝（よしの まさき）選手（22歳）と同校同科の元生徒（令和3年度修了）で現在株式会社新松戸造園に所属する山田 虎次郎（やまだ こじろう）選手（21歳）のペアが入賞し、銅賞に輝きました。

千葉県立我孫子高等技術専門校造園科の生徒たちが、平成28年度から7大会にわたり技能五輪全国大会「造園職種」に挑戦してきた経験が実を結び、今回、千葉県勢として初めての入賞、銅賞という快挙を達成することができました。大会終了後、技能五輪全国大会入賞者で千葉県へ結果報告を行いました。

技能五輪全国大会の概要

- ・主催：厚生労働省、中央職業能力開発協会
- ・日程：令和5年11月17日（金）から11月21日（火）まで
- ・会場：愛知県国際展示場ほか
- ・競技職種：造園、建築大工、左官など41職種
- ・参加選手：競技参加選手は1,010名（千葉県：7職種17名）
- ・出場資格：地方大会で優秀な成績を収めた原則23歳以下の技能者

技能五輪全国大会「造園職種」の概要について

- ・競技は、令和5年11月18日（土）から11月19日（日）の2日間（計10時間30分）愛知県の旧常滑高校グラウンドで実施。
- ・今大会の競技課題は、石積みやレンガ積み、乱張りなどの石材作業、木材を加工して、フェンスやアーチを製作する作業など、庭造りには欠かせない様々な技術を駆使して、西洋風の小規模庭園をつくりあげるもの。
- ・農業高校や専門学校、大学、企業など様々な団体から出場した21組42名が、石材・木材・芝生・植物などを使用して、競技課題の完成度や技術を競った。
（広報副委員長 松戸克浩）



完成（銅賞受賞 山田・吉野ペア）

製作作業